

日油が取り組む生物多様性の保全



方針（基本的な考え方）

日油グループは、生物多様性の保護と回復に積極的に取り組むことを重視しています。そのため、以下の方針を定めています。

- 事業活動における生物多様性への影響を最小限に抑えるため、環境影響評価を実施し、リスクを特定し対策を講じます。
- 生物多様性保護に関連する国際的な指針や法令を順守し、環境保護に取り組むことを従業員に求めます。
- 生物多様性の喪失を引き起こすサプライチェーンのリスクを評価し、サプライヤーとの協力を通じて持続可能な調達を推進します。
- 従業員や関係者に対して環境意識の向上と生物多様性保護の重要性を啓発するための教育プログラムを提供します。

- 地域コミュニティと協力し、地元の生態系保護活動や生物多様性回復のための各種プロジェクトに参加します。

これらの取り組みを通じて、生物多様性の確保に貢献し、より持続可能な未来を実現します。

TNFDへの対応

日油グループでは、生物多様性に関連するリスク・機会の特定・評価に向け、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）が求めるLEAPアプローチ※に沿った分析を2023年度から進めています。自然への依存度・影響度が大きい機能材料事業と機能食品事業の原材料のうち「植物系」「動物系」の原材料を対象に、主要な原産地の評価を行い優先地域を特定し、依存・影響の特定・評価やリスク・機会の特定・評価を進めます。

※ TNFDが提唱する、自然関連のリスクと機会を科学的根拠に基づき体系的に評価するためのプロセス。「LEAP」はLocate（発見）、Evaluate（診断）、Assess（評価）、Prepare（準備）の4つのフェーズの頭文字をとったもの。

生物多様性への取り組み

道路沿いの緑化や自社所有林の間伐・枝打ちによる「森づくり」のほか、主に絶滅危惧種を対象とする保護活動、外来植物の駆除、寄付活動などを通じて、全国各地の拠点で生物多様性に資する計画を実行しています。

全社



廃プラスチックの再資源化



ペーパーレス化

愛知



武豊地域植樹祭
(苗購入、後援)



特定外来植物
「オオキンケイギク」の除草

白河



森林整備 (日本工機株)

大分



モーダルシフト

尼崎



化粧品原料の評価で動物
実験代替法を導入 (動物愛護)



「尼崎の森中央緑地の森づくり」
ボランティア活動に参加

川越



太陽光パネル設置 (日油技研工業株)

美唄



水芭蕉群生地の保護 (日本工機株)

本社



地球環境保護を目的とした寄付
(WWF、緑の募金、経団連自然保護基金他)



FSC認証紙の使用



グリーン調達



RSPO加盟、生物多様性民間
参画パートナーシップ参加、
経団連生物多様性宣言賛同、
JaSPON参加

川崎




非化石証書付電力購入



フードロス削減 (機能食品)



モーダルシフト、共同配送



「川崎市みどりの事業所推進
協議会」に参加。
屋上緑化やグリーンカーテン、
敷地周辺緑化を推進



「森林再生パートナー制度」に参画
(NOFメタルコーティングス株)

保全の取り組み

日本工機(株)

森林整備活動

日本工機(株)白河製造所がある福島県では、「福島県森林整備活動による二酸化炭素吸収量認証制度」を設けており、県内の企業・団体等が実施した植栽や下刈り、間伐などの森林整備の効果を二酸化炭素吸収量の数値で認証しています。この認証は、企業・団体等による森林整備活動への参画を促進し、地球温暖化防止など森林の持つ多面的機能の持続的発揮と山村地域の活性化に資することを目的としています。福島県西白河郡西郷村に約149ヘクタールの森林を所有する日本工機(株)は、その森林整備活動により282トンの二酸化炭素吸収量(2012年~2013年)が認証されました。



NOFメタルコーティングス(株)



「かながわ森林再生50年構想」において 森林再生パートナー制度に参画

「かながわ森林再生50年構想」とは、県内にある丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の植林地におよぶ約9万5000ヘクタール、県土の約40%を占める森林を再生する取り組みです。手入れ不足による荒廃浸食を防ぎ、森林の豊かな恵みを次世代へと継承することを目的としています。NOFメタルコーティングス(株)が森林整備を支援するのは約10ヘクタール(東京ドーム約2個分)で、森林が吸収するCO₂は5年間で約247トンとなります。また、県より指定された森林の一部は、「NOFメタルコーティングスの森」と名付けることとしました。今後はパートナー企業として、森林整備や自然観察などのイベントを実施。従業員やご家族の皆さまとともに、健康づくりや親睦を深める場として活用し、自然保護・環境保全に貢献します。

尼崎

「尼崎の森中央緑地の森づくり」ボランティア活動に参加(2017年~)



2023年度、兵庫県が進める「尼崎21世紀の森構想」の取り組みの一つ、「尼崎の森中央緑地の森づくり」に、尼崎工場からのベ7名の社員が参加しました。一般のボランティアや事務局の方とともに、植樹や除草に取り組みました。この森づくりの活動を通じて、臨海地域の環境改善や生物生態系の多様性の確保に貢献します。

本社

FSC認証紙の使用

FSC認証は、持続可能な森林活用・保全を目的として生まれた、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度です。日油は統合報告書、株主総会招集通知、会社案内、社内報にFSC認証紙を使い、森林を守る活動に協力しています。



愛知

特定外来植物の除草

北米原産のキク科の多年草「オオキンケイギク」は、観賞用・緑化用として海外から持ち込まれましたが、繁殖力が強く、日本の生態系に重大な影響を及ぼす恐れがある植物として、平成18年(2006年)に外来生物法による「特定外来生物」に指定され、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されています。全国的に地方自治体がHPなどで駆除を呼び掛けています。日油の愛知事業所においても場内各所に生育し、近年その数が急激に増加したため、場内全体で駆除活動を実施しています。

日本工機(株)

水芭蕉の群生地を保護する活動

童謡・唱歌の代表曲「夏の思い出」で知られる水芭蕉は、水辺に生える高山植物です。東京ドーム9.2個分、約43ヘクタールの広大な面積を持つ日本工機(株)美唄製造所の敷地内には、木漏れ日がさす湿地に水芭蕉の群生地があります。白樺などの樹木や水辺に囲まれた豊かな生態系は、社員たちの継続的な観察によって大切に守られています。